

長期戦略:テーマ 「研究者の輩出」

提出日 2019年 8月 8日

担当部署

II.実施計画帳票

長期戦略テーマの責任者 (統轄部署)	小菅副学長(総括) (学長室大学院課)	実施計画の 担当部署	研究推進社会連携機構
-----------------------	------------------------	---------------	------------

1. 実施計画

実施計画(タイトル)	取組開始	達成状況 確認年度	学部・研究科での 取組み有/無	帳票
2-(1)-① 特別研究員採用者増のための支援策実施	(2019)年度	(2021)年度	必要なし	不要
内容				
<p>研究者輩出のため、日本学術振興会の特別研究員の採用者数を増やす。</p> <p>【指導教員への支援策の検討】 前期課程2年の学生がDC-1に申請する際、指導教員が申請書類を吟味し、適切な内容とするよう支援すること、またその結果、当該学生がDC-1に採用された場合の指導教員への支援内容を検討する。</p> <p>【特別研究員採用者への支援策の検討】 大学院奨励研究員制度、大学院博士課程後期課程研究奨励金制度を再検討し、特別研究員不採用者で高評価者に対する経済的援助、研究経費補助の制度に再構築する。</p>				
進捗状況を測る指標	指標名	定義・算式		
指標1	特別研究員採用者数の増加	2018年度6人を2027年度に10人にする。		
指標2				
指標3				

目標1<指標1>特別研究員採用者数の増加

	(2019)年度	(2020)年度	(2021)年度	4年目以降
目標	6人	6人	6人	2022年度採用から1名程度ずつ増やし、2027年度に10人に
実績				

目標2<指標2>

	()年度	()年度	()年度	4年目以降
目標				
実績				

目標3<指標3>

	()年度	()年度	()年度	4年目以降
目標				
実績				

2. ロードマップ

		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
指導教員への支援策 の検討 特別研究員採用者へ の支援策の検討	策定段階	制度検討	制度検討・決定	制度運用開始	制度運用・改善	制度運用・改善
	2020年3月 末段階	-	-	-		
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	-
	策定段階	制度運用・改善	制度運用・改善	制度運用・改善	制度運用・改善	
	2020年3月 末段階					
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	策定段階					
	2020年3月 末段階					
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	-
	策定段階					
	2020年3月 末段階					

3. 費用計画・人員計画

【費用・人員を必要とする理由】				
非公開				
経費 単位:万円	2019年度 承認	2020年度 承認	(2021)年度	4年目以降
非公開				
人員・人件費 単位:万円	2019年度 承認	2020年度 承認	(2021)年度	4年目以降
非公開				

4. 進捗状況・得られた成果

2019 年度	
() 年度	
() 年度	

5. 今後の課題及び方向性

(2019) 年度	検討中。
(2020) 年度	
(2021) 年度	

6. 学院総合企画会議の基本方針

2018 年度	＜教務機構からの業務移管に伴う人員増については、その内容や量に応じ、事務職員 1 名を異動する方向とし、人事部にて対応します。＞
2019 年度	—
() 年度	